

○応募総数 29作品  
○応募地域 11都府県

## 令和6年度愛顔感動ものがたり 映像部門 受賞作品一覧

賞	制作者	都道府県	タイトル	作品応募コメント
グランプリ	愛媛中央産業 技術専門学校 村上 志帆	愛媛県	まっしゃん	作品を見た人に居続ける「青春の日の友人」と「その日々」を想起させるべく、脚本段階から丁寧に制作を進めた。また、原作の良さを損ねないように留意しつつ、どの時代にも共通する普遍的な物語として描いた。
準グランプリ	皆尾 裕	愛媛県	小さな神様と私	原作で描かれていた現在と過去をつなぐ祠を映像にどう描くか、妹から見た視点ではどうなのか、などを工夫して制作。祠の他主人公宅を含め、地元西条市でのロケハンにより素敵なロケ地が見つかり、西条・丹原の地域活性に挑むリアルな話も裏設定とした。
優秀賞	新居浜市立 東中学校 美術 部	愛媛県	まっしゃん	部員全員が今回の映像作品で初めて芝居に挑戦し、その初々しさがうまく生きた作品に仕上がったと感じる。1カット1カットの出来映えに一喜一憂、ときには大爆笑しつつ、毎日1時間足らずの活動時間を充実した体験に変えることができた。
入選1	山川 麻美子	神奈川県	ラブレター	原作の「今は昔、君から届いたラブレター」を大変面白く読み、原作には夫婦喧嘩のセリフが具体的に書かれているわけではなかったため、まずは脚本作りにこだわった。観ている人がほっこり出来て、笑顔になれる作品になったのではないかな。
入選2	永野 和哉	東京都	まゆつば	原作に登場する父親がコミカルで可愛かったため、今回は息子ではなく父親の視点に立って、家族の「幸せ」について考えた。コメディタッチに仕上げたが、くだらない喧嘩ばかりしているけれど、傍から見れば明らかに「幸せ」そうに見える3人家族に注目いただきたい。
入選3	大西 洋	大阪府	しりとりの続き	人物の年齢や性別などをアレンジしたが、原作の感動を損なわないよう気を付けて映像化した。2人の掛け合いを楽しんでほしい。
審査委員 特別賞1 (榎井委員長)	愛媛中央産業 技術専門学校 千秋 龍ノ介	愛媛県	四つ葉のクローバー	この映像を見た人が笑顔になり、くだらないけど面白い、気分が明るくなるようなストーリー、演出を意識して撮影にあたった。1人でも多くの人々が私たちの撮影した『四つ葉のクローバー』で笑って、この映像が「小さな幸せ」になってくれたらうれしい。
審査委員 特別賞2 (森委員)	箕面自由学園 高等学校放送部 永田 陸	大阪府	ノーネームレター	手紙を書くシーンや手紙を読むシーンで机の上にある鏡に表情が映るようにした。
審査委員 特別賞3 (杉作委員)	(株)アルト映像 事務所 三浦 彰浩	愛媛県	手帳の向こう	原作から感じた爽やかな空気を感じてもらうため、怒和島をロケ地とし、挨拶しながら撮影していると話しかけてもらうこともあり、怒和島という島も楽しめたことが体験として良かった。このような交流もまた映画製作の体験の一つとして良い機会となった。
審査委員 特別賞4 (片岡委員)	ゆかりとめぐる 伊藤 ゆかり	神奈川県	四つ葉のクローバー	原作をもとに、自分たちの経験を盛り込んで作品にした。一生懸命になっている若い主人公の尊さ、優しく見守る家族のあたたかさ、まわりを見ることの大切さを描いた。画では心情や野球の空気感の表現を、音楽ではかっこよさやしなやかさの表現に特にこだわった。